



心ひとつに

校訓「心ひとつに 明日を拓く」
教育目標「気づき、考え、行動する生徒の育成」

美郷町立美郷中学校
令和6年9月20日
文責：校長



* 本校ホームページ→



一心祭特設集会



10月12日（土）の一心祭まで1か月を切りました。9月17日には、「一心祭に向けて生徒が一丸となる」ことを目指して、生徒会主催の特設集会を開きました。生徒会執行部からは、今年度の一心祭のねらい、テーマの発表、各部門の責任者の紹介が行われました。また、鈴木さくら生徒会長が、「日頃の感謝を伝えるとともに、心一つにしてこれまで以上の一心祭にしましょう。」と全校生徒に呼びかけました。

令和6年度 一心祭テーマ

縁（つながり） ～感謝と笑顔は美郷をつなぐ～

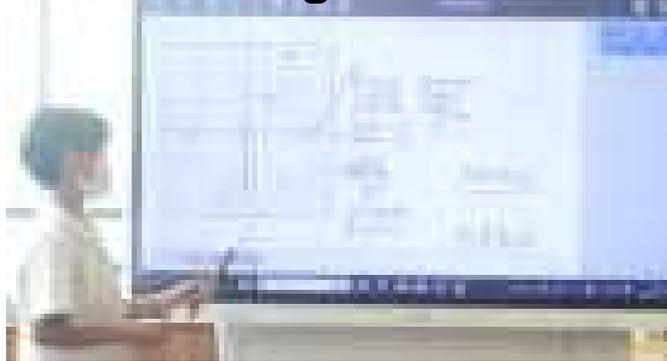
「縁」には、「つながり」という読み方はありませんが、同じ空間を共有している「縁（えん）」を大切にしながら、感謝の心や笑顔で、生徒同士や家族、地域の方々とのつながりを強固なものにしたいという思いが込められているようです。校長からは、「前面での活躍はもちろんのこと、目立たない所でも『縁の下の力持ち』となって活躍してほしい」ことを語りかけました。



生徒会執行部と各部門責任者

一心祭の準備活動は、今月30日から本格的にスタートします。

授業研究会(数学)



17日に秋田県教育庁南教育事務所雄勝出張所の〇〇〇〇指導主事を迎えて、数学の授業研究会を行いました。授業学級は2年1組で、〇〇〇〇教諭と〇〇〇〇教諭のTT（チームティーチング）によるものでした。「グラフが通る2点から、一次関数の式を求めるにはどうしたらよいか」という学習課題の解決に向けて、子どもたちは、自力思考からグループによる学び合いへと学習活動を進めていきました。また、その際に、タブレットや電子黒板等のICT機器の効果的な活用も見られました。

授業参観後は全職員で検証を行い、今後自らの授業にどのように生かすかを確認しました。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、歩みを止めずに研修を深めてまいります。

理科研究発表会



18日に「第57回大曲仙北理科研究発表会」が行われ、出場した本校の2班ともに最優秀賞に輝き、全県研究発表会への出場権を獲得しました。代表として報告に来た〇〇〇〇さんは、「昨年よりも良い発表ができた。」、〇〇〇〇さんは、「県の発表会までに新たな視点で研究を深めたい。」と語ってくれました。科学部は長年にわたってビオトープや清水でトミヨ属雄物型の生態調査や研究を継続し、その成果を発表しています。